

### 薬剤師募集中!

薬剤師さんをご紹介ください。  
 薬剤師も地域へ、在宅医療を旺盛に展開  
**青葉調剤薬局**  
 中野区中野5-47-10  
 3389-7110



健康づくり 生きがいづくり 友だちづくり まちづくり

# 友の会だより

中野共立健康友の会・広報委員会発行  
 〒164-0001 中野区中野5-45-4

Eメール: a\_nozawa@kenyu-kai.or.jp  
 Tel:03-3386-9139



打越町会のお神輿

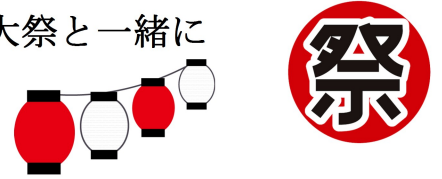
## 中野共立健康まつり

# 笑顔満祭

病院前で一本締め「イヨ」



氷川神社例大祭と一緒に



## ～心の健康笑顔から～

9月17日(日)、第13回中野共立健康まつりが地域の氷川神社例大祭と一緒に開かれ、台風の影響で雨にも関わらず、診療所全館、病院玄関前などに500人の人々で賑わいました。

今年の特別ゲスト、中野区のローカルヒーロー次元捜査官ジードが登場。阿波踊りは、今回初参加の「東京新のんき連」。会場は拍手や掛け声で笑顔満載。恒例の骨密度・血糖・体組成計測定、マッサージ、餅つき、各種模擬店、バザー、中央舞台の出し物、粗品コーナー等に行列ができ、大賑わい。

最後は「セイヤ、セイヤ」と威勢のいい打越町会のお神輿を迎え、御旅所の病院前でお神酒を振る舞い一本締め。

今年も地域の病院として健康づくりのお役に立ちたいと大成功の内に終わりました。



躍動感いっぱい、会場を盛り上げた今年初参加の「東京新のんき連」

### 骨密度測定



行列ができるほど毎年人気の各種測定結果に喜んだりがっかりしたり

### 血糖測定



次元捜査官ジードと一緒にポーズ



安全でおいしいお餅販売のため衛生管理を徹底



園児に人気の「エビカニ体操」を山本院長、国府田医師が披露、他の医局のメンバーも動画でコラボ



「ころばん・セラバン体操」は転倒防止に効果大。第4火14時～共立診4階へどうぞ



## 友の会

### 仲間増やし月間 10月～12月

友の会の仲間を増やし、病院・診療所と共に楽しく、健康づくり、住みやすいまちづくりを広げましょう。

○インフルエンザ予防接種は3300円のところ友の会員特別価格、2700円で受けられます。その他にも友の会割引がありますよ。

### お友達を誘って 友の会の輪を広げましょう!



雨の中、かき水販売 お疲れ様でした



美味しそうないが食べたかったなあ



売れ行き良好 編み物販売



初めての木工工作、まな板削りコーナー (東京土建)



笑顔でお迎え (受付)



何が当たるか子どものクジ引きコーナー



コーラス「花木」と一緒に美しい歌声で包まれました



一緒に踊りましょうフラダンス!



より美しく化粧品等販売 (新日本婦人の会)

### 投稿欄

## 10月30日は何の日

中野区弥生町  
塩原 美恵子 (94歳)



私の誕生日は10月30日です。でも本当に生まれたのは、大正12年9月6日なのです。

大正12年9月1日の関東大震災の時、臨月の母は3人の子どもを連れて上野の山の西郷さんの銅像の前の避難所に行きました。震災の大混乱のさなかで生まれた私の名前はつけられず出生届がすっかり遅れてしまいました。父は遅れついでと、「教育勅語の

「教育勅語」というのも最近では知らない人が多くなったが、私も世代のものは、義務教育を終えたら、これを声に出してしっかり読み、書けなければ日本国民として「一人前」とは言われませんでした。

最近「教育勅語」と「教育基本法」と比べていろいろ論議されていますが、しっかり読んで2つの違いを見極めましょう。

に(天皇である私が考えますの「に」に始まり、「御名御璽(天皇のお名と印章)」で終わる教育勅語は明治23年10月30日にご下賜されました。私たちが受けた戦前の「教育の大指針」でありました。

太平洋戦争後、帝国憲法が平和憲法になり、教育勅語は教育基本法となりました。

## 私たちの仲間

### さまざまな出会いや体験を生かし 2000人を超える職員と共に



中野共立病院 事務局長 塚本 晴彦



6月21日に中野共立病院の事務局長になりました。塚本晴彦です。

姉と弟に挟まれ、小さな鉄工所の長男として香川県多度津町で生まれました。サッカーに没頭した高校時代、京都市衣笠の大学で学び、学生自治会活動の縁で東京都中野区の中野坂上来ました。それからずっと中野に住んでいます。子どもは4人、妻は当然ずっと一人。いまは野方が住まいます。

日本平和委員会の事務局、

東京の被爆者団体のお手伝いをへて1996年1月に当時の中野勤労者医療協会に就職しました。医療の面から被爆者の皆さんのお力になればという思いからでした。医学生担当から始まり、共同組織課、病院建替時に向、総務部、組織部、江古田沼袋診療所、城西診療所、そして中野共立病院に配属されました。

で活躍する先生と医学生担当として出会い、今もともに民医連で働いていること、地域の理容美容専門学校による散髪ボランティアの開始、認知症サポーター養成講座やこぼん・セラバン体操の広がり、を友の会の皆さんと作ったことは素晴らしい体験でした。

民医連の総合事務職として、様々な体験をさせていただいています。

### 中野・杉並健康友の会まつり ー作品展ー 9/20~22

## 作品が充実している



みんなで色をのせて描いた画家・山下清の「長岡の花火」

※山下清は花火をとおして素敵なメッセージを残しています。「みんなが爆弾なんか作れないきれいな花火ばかり作っていたらきっと戦争なんか起きなかつたんだな」と。

中野・杉並健康友の会の「作品展」がなかのゼロ美術ギャラリーで行われ、3日間で338人の入場者がありました。作品約200点が飾られ、「来てよかった。私も何かをしたいと思わせてくれるものばかり」「いつも素敵な作品をありがとうございます。作り上げる過程は大変だと拝見しています」「作品の数、種類が充実していて楽しめる」など感想が寄せられました。



## 都市への権利



社会医療法人社団 健友会 理事長  
中野共立診療所 所長  
医師 伊藤 浩一

「都市への権利」という概念を最近知った。岩波書店の月刊誌「世界」9月号で建築学を専門とする岡田朋子東大教授が、国連ハビタットIIIが20年ぶりに開催されたことに触れて紹介している。

### 都市の居住地域を再開発で層別化

都市の貧困問題などを解決する為に地方への分散がいわれたものの、現在は都市への人口集中は避けられない。その中でだれもが排除されずに都市で暮らせるようにするべきという考え方だ。国際的には難民との関連で論じられているようだが、日本では人口減少の中で、空間的には空き家が増え、社会的につながらの乏しい高齢者が増え、多孔隙の都市になるなかで、だれもが排除されない都市をどうつくるかという問題提起である。

### 暮らし続けられるまちづくり

「開発企業は公的なインフラに寄生することによって巨額な開発利益を得る、いやむしろ寄生という表現は不適切で、公共側が意識的に企業に利益を供与するよう公共事業を立案し推し進めている」(岩見良太郎「再開発はだれのためか」日本経済評論社)という手厳しい批判も当然に思っているようにも思う。



老朽化したインフラ整備に今後巨額な費用がかかる見通しもあるため、再開発を問いつつ、暮らし続けられるまちをどうつくるか、人口減少を迎えていく中で、考えていく必要を、遅ればせながら強く感じる。

※居住地域を再開発し高級化すること(編集部注)